

会議議事録

会議名	令和5年度 第1回 教育課程編成委員会		
開催日時	令和5年9月19日(火) 15時00分～16時10分		
会場	専門学校 広島工学院大学校 (4F 407教室)		
参加者	委員等	6人	企業:一般社団法人広島電業協会 事務局長 廣田 様 企業:株式会社中電工技術担当係長 加良 様 学校委員:半明校長 錠本学科長 赤木学科長 上甲(記)
会議録	<p>1. 校長挨拶</p> <p>2. 議題</p> <p>15:00～15:20 学科状況報告、派遣授業の実施及びスケジュール</p> <p>15:20～16:10 意見交換</p> <p>(1) 令和5年度企業連携・派遣授業の実施等の報告(3/17教育課程編成委員会以降)</p> <ul style="list-style-type: none">● 4月 三瓶研修(コロナ感染防止により中止)● 8/18 電気系学科懇談会 広島電業協会 様(実施済)● 10/4-6 江田島研修(予定)● 11月頃 派遣授業(安全体感実習)中電工沼田研修所 様(予定)● 11/17 派遣授業(電気工事現場見学)広島電業協会 様(予定)● 12月頃 派遣授業(機械警備実習)広島総合警備保障 様(予定)● 2月頃 派遣授業(電線管曲げ)中電工沼田研修所 様(予定) <p>(2) 学科状況報告</p> <ul style="list-style-type: none">● 今年度の資格取得についての取組みと結果● 学内・学科行事の状況● 今年度の就職状況● 教員等の研修実施と自己啓発の取組み <p>(3) 過去6年間の卒業生における在職状況の報告</p> <p>(4) 令和4年度派遣授業の実施報告</p> <ul style="list-style-type: none">● R4.11/17 安全体感実習(中電工沼田研修所 安全体感実習棟)中電工沼田研修所 様● R5.2/2 配管曲げのコツ(校内・電気実習室)中電工沼田研修所 様 <p>(5) 校内会社説明会の実施報告</p> <ul style="list-style-type: none">● 入社1年目の当校卒業生による実経験に基づく「仕事の流れ」の説明があり、同世代からの話は親近感があり、後に企業の現場見学会に参加する学生もいた。 <p>(6) 学科内レクレーション</p> <ul style="list-style-type: none">● ボーリング大会、サッカー、ソフトボールの実施し、普段の授業内では分からない学生の表情を見ることができた。		

会議録	<p>(7) 意見懇談会</p> <p>(学生指導について)</p> <ul style="list-style-type: none">● 対話でないと伝わらないことがあるが、メール等を活用するなかで、「自分の意見が声を出して言えない学生」が存在する。例えば、事前連絡が必要な時に連絡がなく、その理由を聞いても何も話さないこともある。● 会社組織に属していれば、報告は常識であることであっても、属していなければ常識でもないこともある。事前に報告する旨をあらかじめ学生へ伝達し、「社会のルール」であることを認識させ、学生のうちに定着させていく指導が必要である。● コロナ以降は、社会常識が大きく変化しているため、これまでの常識が通用しないことが多々あるため、変化に対応していく必要がある。 <p>(新入社員について)</p> <ul style="list-style-type: none">● 中電工 様へ就職した卒業生の現況の報告があった。● 学校卒業後3年以内は、新卒として扱われるため、入社後5年くらいが継続して就業するか、退職するかの分岐点である。● 最近では、文系から技術職に就職する割合が増加している。未経験分野に覚悟して入社してくるため、理系卒より伸びる人もいる。● コロナ以降は、体調不良になればすぐに有給を取得するため、入社年から有給をすべて消化していく傾向にある。● 新入社員のグループのなかに、リーダーシップがとれる人がいるとグループ全体が伸びる傾向にある。 <p>(資材価格の高騰について)</p> <ul style="list-style-type: none">● 授業の実習において、資材を調達する必要があるが、資材価格が高騰しているため、資材調達に苦労している。● 資材と合わせて、人件費が高騰しているため、原価上昇分を販売価格に転嫁するか悩んでいる企業からの相談がある。● 働き方改革による残業制限が、2024年には建設業にも適用されるため、週40時間労働の実施、また官庁案件の週2以上の土曜休みなどで、労働改善が図られる見込みであるが、一案件の工期が長くなるため、間接費の増額が見込まれる。 <p>(企業側からの学校に対する意見)</p> <ul style="list-style-type: none">● 卒業生が来校し、就職先の愚痴するのは、その卒業生が企業に真剣になって仕事に取り組んでいないためである。その内容を聞いて、一方的にその企業がよくないと思う方もいるようである。真剣に働いていれば愚痴するために母校に来校せず、職場で一生懸命働いているため、大人の目線で、これまでの経験から学生のヒントとなることを指導してほしい。
-----	--

会議議事録

会議名	令和5年度 第2回 教育課程編成委員会		
開催日時	令和6年3月18日(月) 15時00分～16時10分		
会場	専門学校 広島工学院大学校 (4F 407教室)		
参加者	委員等	6人	企業:一般社団法人広島電業協会 事務局長 廣田 様 企業:株式会社中電工技術担当係長 加良 様 学校委員:半明校長 錠本学科長 赤木学科長 上甲(記)
会議録	<p>1. 校長挨拶</p> <p>2. 議題</p> <p>15:00～15:30 学科状況報告、派遣授業の実施及びスケジュール</p> <p>15:30～16:10 意見交換</p> <p>(2) 令和5年度企業連携・派遣授業の実施等の報告(9/19教育課程編成委員会以降)</p> <ul style="list-style-type: none">● 10/4-6 江田島研修● 11/15 ひろしま技能フェア2023● 11/17 派遣授業(建設現場見学) 広島電業協会 様● 12/18 派遣授業(安全体感実習) 中電工沼田研修所 様● 1/31 派遣授業(機械警備に関する実習) 広島総合警備保障 様● 2/1 派遣授業(配管曲げ実習) 中電工沼田研修所 様● 8月、9月、10月、3月に教員研修を実施 <p>(2) 学科状況報告</p> <ul style="list-style-type: none">● 今年度の資格取得についての取組みと結果● 学内・学科行事の状況 <p>江田島研修(2泊3日合宿研修)</p> <p>ひろしま技能フェア2023参加(1年生を中心に、小学生や一般来場者に説明)</p> <p>(3) 今年度卒業生の就職状況等の報告</p> <p>(4) 令和5年度派遣授業の実施報告</p> <ul style="list-style-type: none">● 11/17 小学校校舎長寿命化工事の建設現場見学会(東広島市内) 広島電業協会 様● 12/18 安全体感実習(中電工沼田研修所 安全体感実習棟) 中電工沼田研修所 様● R6.1/31 AI顔認証とLAN配線作業実習(校内・工担実習室) 広島総合警備保障 様● R6.2/1 配管曲げのコツ(校内・電気実習室) 中電工沼田研修所 様 <p>(5) 校内会社説明会の実施報告(1月、2月に実施)</p> <ul style="list-style-type: none">● 仕事内容や現場の様子、また当校OBが従事する仕事を知る機会と知ることができた。● 同世代の当校OBとの交流を図ることができ、企業研究する上で参考になった。 <p>(6) 学科内レクリエーション</p> <ul style="list-style-type: none">● ボーリング大会、サッカー、ソフトボールの実施し、普段の授業内では分からない学生の表情を見ることができ、1・2年生間での交流を図ることができた。		

会 議 録	<p>(7) 意見懇談会</p> <p>(派遣授業「建設現場見学会」について)</p> <ul style="list-style-type: none">● 学生は、実際に作業している電気工事の現場を見る機会がないため、見学会の参加を通じて得るものが多く、学生の感触がよかった。次回以降も続けて現場説明会に参加していきたい。● 今回は、大手建設会社に受入準備など協力して頂いた。電気工事業界のためにも、機会があればまた開催していきたい。● 本見学会は、中建日報(11/21付)に取り上げられ、学生のコメントも掲載された。 <p>(派遣授業「安全体感実習」について)</p> <ul style="list-style-type: none">● 毎年参加し、2年生は2回目の参加であったが、前回同様の体験がであったが、安全の大切さについて改めて実感していた。● 一般企業も定期的に安全体感実習棟を利用し、研修を実施している。多い企業では、毎年定期的に実施している。● 「怖い」と思うのは、研修を実施時のみで、事故全体の件数は減っていない。特に、2m程度の墜落事故のようなちょっとした事故は減らない。 <p>(派遣授業「配管曲げ」について)</p> <ul style="list-style-type: none">● 1年生は、派遣授業後の直後の実習において、パネル作品用の金属管の曲げを実施した。派遣授業を欠席した学生は、出席した学生と比較して金属管の曲げ作業に時間を要したため、派遣授業の成果を直後の実習内において確認できた。● 現在は、既製品を使用するのが一般的な時代であるため、鉄道や工場などの特定現場や五輪選手ぐらいしか金属管曲げは実施していない。 <p>(派遣授業「機械警備に関する実習」等について)</p> <ul style="list-style-type: none">● 当校OBが「クラウドと連携したAI顔認証システム」を利用し、派遣授業を実施するなかで、1年生と2年生が仲良く取り組んでいて、いい雰囲気であると感じた。● レクレーション等を通じて、他学年との交流を図るようにしている、● また、当校OBへのパンフレット取材に同席した際、入社後2年で成長していることを実感した。大きな目標でなくても、小さな目標をもって実現していけば、成長していくと感じた。 <p>(企業側からの学校に対する意見)</p> <ul style="list-style-type: none">● 派遣授業や企業説明会を開催する企業は、業界全体の発展のために尽力して頂いているため、本日の報告にあった学生からのアンケート結果を実施した企業に対して、学生の声をフィードバックし、今後の活動の参考にしてあげてほしい。
-------	---